

船舶事故調査報告書

平成27年9月3日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 庄 司 邦 昭（部会長）

委員 小須田 敏

委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成26年12月25日 05時30分ごろ～09時00分ごろの間）
発生場所	不明（千葉県千葉市磯辺の海岸沖）
事故調査の経過	平成26年12月26日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため、行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 ^{つなやす} 綱安丸、1.7トン CB3-50604（漁船登録番号）、個人所有 9.09m (Lr) × 1.90m × 0.52m、FRP ディーゼル機関、81kW（動力漁船登録票による）、昭和57年9月10日
乗組員等に関する情報	船長 男性 56歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和59年12月12日 免許証交付日 平成26年3月7日 (平成31年12月11日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、平成26年12月25日05時30分ごろ千葉県市川市の市川漁港を出港した。 船長は、磯辺の海岸から約50m沖で漂流しているところを、近くを通り掛かった人に発見され、09時00分ごろ警察へ通報された。 船長は、搬送先の病院で溺水による死亡と検案された。 本船は、船長が発見された場所の近くで、無人の状態で発見されたが、転覆はしていなかった。 (付図1 事故発生場所概略図 参照)
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 東北東、風力 1 海象：海上 平穏、水温 約12℃
その他の事項	船長は、主に本船上から ^{じよれん} 鋤簾を使用して貝類を採取する操業を約7年行っており、本事故当時、健康状態に問題はなく、ジャンパー及び

	<p>防寒ズボンを着用している状態で発見され、救命胴衣を着用していた。</p> <p>本船は、市川漁港を出港する際に目撃されていたが、本事故発生時の目撃情報はなかった。</p>
<p>分析</p> <p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析</p>	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>船長の死因は、溺水であった。</p> <p>本船は、船長が、05時30分ごろ市川漁港を出港した後、09時00分ごろ磯辺の海岸から約50m沖で漂流しているのを発見されたことから、この間において、船長が落水したものと考えられる。</p> <p>船長は、落水して死亡した可能性があると考えられるが、その状況を明らかにすることはできなかった。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が、市川漁港を出港した後、船長が落水したことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等による被害の軽減に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・突発的な事故などが発生したときに備え、防水型の携帯電話などを身につけておくこと。

付図1 事故発生場所概略図

